

## 2025 年度平和カンパのご報告

# ガザの命を守る 緊急支援



特定非営利活動法人  
パレスチナ子どものキャンペーン

### 続く人道危機

ガザでは 2023 年 10 月から 2 年間以上にわたって、未曾有の人道危機が続いてきました。2025 年 10 月に一時停戦が合意されたものの、ガザ全体の 2/3 はイスラエル軍に占領されたままで、先行きは不透明なままです。一時停戦とは名ばかりで、犠牲者は増え続けています。

2026 年 4 月までに、少なくとも 7 万 2,562 が死亡（子ども 2 万人）、17 万 2,320 人が負傷、2 歳未満の子どもの 46% が深刻な食糧不足の状態にあります。建物の 81%、道路の 77% が損傷しました。今後治安状況が安定するかどうかは不透明で、復興までにはかなりの年月が必要になることが見込まれます。世界がイランの情勢に目を向ける中、人道危機が続くガザの人々は孤立感を深めています。

### 炊き出し

「命をつなぐ支援」として炊き出しを続け、約 2 万食を提供しました。停戦が発効した後は材料に肉などを使うことができる日もあり、ひき肉入りパスタ、野菜スープ、鶏むね肉とごはん、レンズ豆のスープ、ラム肉入りごはんなど、とても喜ばれました。

しかし、封鎖状態は続いており、食料供給は情勢に左右されて、非常に不安定です。肉や新鮮な野菜はいつも使える食材ではありません。缶詰などの保存食を手に入るときに確保して不足した時に備えました。調理ガスがなくなったときは、薪を使いました。

避難生活を続ける多くの人々は、家も仕事も家財も失ったままなので炊き出しは続けていかななくてはなりません。炊き出しがストップすることがないように、柔軟な対応を続けています。

### 子どもの居場所づくりと心理サポート

避難所に子どもの居場所を作り、トラウマやストレスを抱える子どもたちに、紙芝居、描画、歌、ボール遊びなどのレクリエーションやアートなどを通じた活動や、心のケアをするプログラムを実施しました。親や家族を亡くした子どもたちを多くんだ約 800 人が参加しました。また、学校教育の機会を 2 年以上奪われているため、学習スペースとしても機能しました。

### 「命をつなぐ支援」を続けます

2025 年度の平和カンパは、これらの緊急人道支援に活用しました。心から御礼申し上げます。

2026 年度も、信頼できる現地のパートナー団体と緊急支援を続けていきます。特に、温かい食事の提供を通じて、子どもたちの命と心と成長を支えていきたいと考えています。引き続きご協力をお願いいたします。

